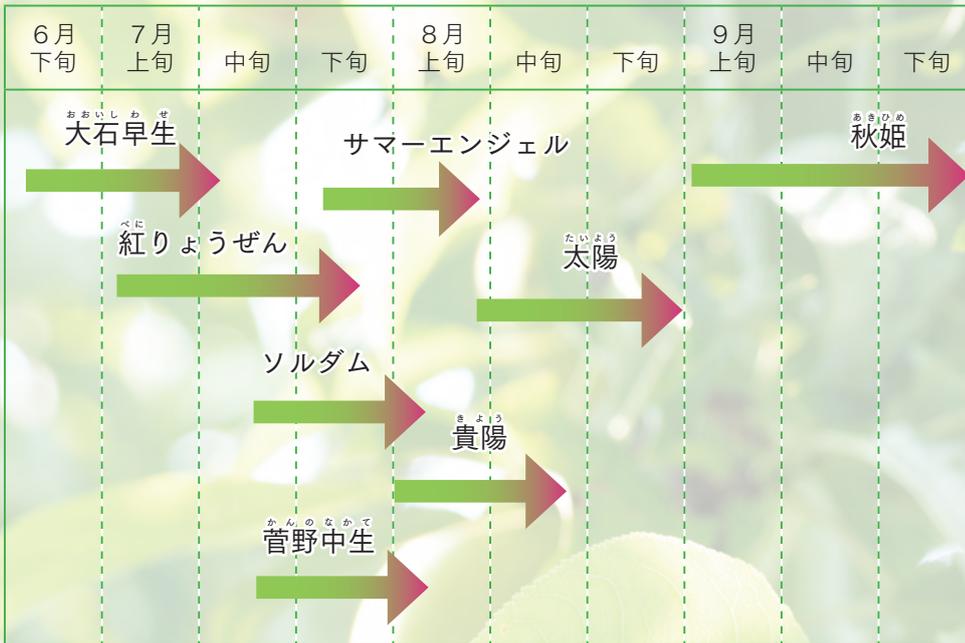


特集 すっぱ! あま〜い

# スモモ



黄緑色の実の先がほんのりと赤く染まるスモモ。  
6月下旬から9月下旬までの長い期間でたくさんさんの品種が市場に並び、私たちにバランスが良い酸味と甘みの果肉を楽しませてくれます。

▲品種ごとの出荷時期

▲大石早生(表紙のスモモも大石早生です)

ジメジメの梅雨に  
程よい酸味と甘み

# 大石早生

甘さと程よい酸味が相  
まって、ジメジメした梅雨  
の時期には丁度良いさっぱ  
りとした味わいに感じられ  
る大石早生。

完全に熟す前に収穫され  
ることが多く、その時点で  
はまだ少し緑が残ったよう  
な薄い黄緑色で、果肉はや  
や硬く締まっています。熟  
すにつれて全体がきれいな  
鮮紅色に色付き、果皮が色



JAながのみゆきスモモ部会会長  
藤田 清隆さん

付くと柔らかくなり、とて  
もジューシーな食感が味わ  
えます。

## 収穫時期が一番早い スモモ

「昔から『はれんきよ』  
『はたんきよ』という愛称  
で、庭にあるスモモを採っ  
て、その場で丸かじりして  
ましたね。そんな昔ながら  
のスモモが『大石早生』で  
すよ」と話すのは、上今井  
区南古川で果樹園を営む藤  
田さん。

「果物の中でも、スモモ  
の大石早生は収穫時期が早  
いんです。だから、台風な  
どで気候が荒れる時期より  
早く収穫することができま  
す」と大石早生の特徴を教  
えてくれました。

果樹園で収穫作業中の藤  
田さんは「特に千曲川に面  
しているこの辺りは、雨量  
が増すと川が増水して、畑  
が水浸しになってしまいま  
す。そうになると、せっかく  
育てた果物が売り物になら



なくなってしまうんです」と  
と自然相手の仕事の苦労を  
語ります。

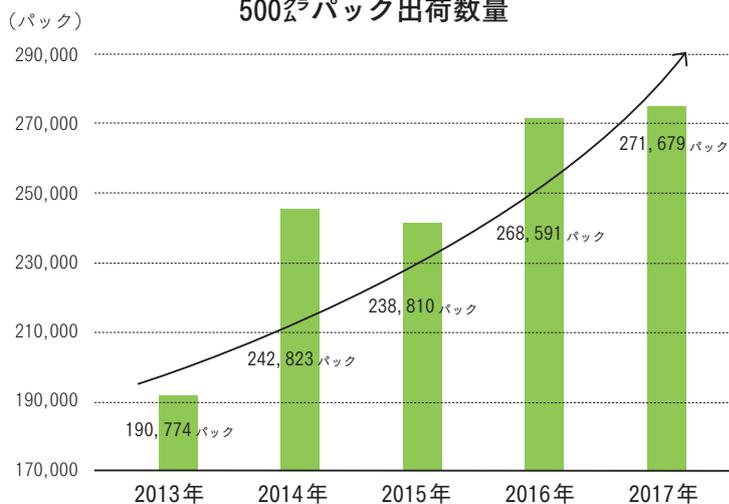
「スモモ以外にも、モモ  
やリンゴなどの果物を栽培  
している農家が多くいま  
す。収穫作業などの時期が  
ずれるよう調整が必要なの  
で、大石早生は扱いやすい  
品種です。特に、今年は、4  
5月が暖かかったので、収  
穫時期が例年より1週間ぐ  
らい早いですよ」とうれし  
そうに話してくれました。

豊田地域の  
大石早生は、  
長野県内で一番多くの  
生産量を誇ります。



JAながのみゆき営農センター  
佐藤 翼さん

### 500gパック出荷数量



実の先がほんのり赤いものは関西に、赤くなり完熟に  
近いものは新潟県などに出荷しています。早期収穫の利  
点がある大石早生は生産量も出荷量も伸びています。